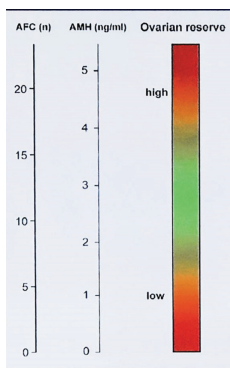


AMH 検査による卵胞数の結果から将来の妊娠に備える



AMH (抗ミュラー管ホルモン) 検査とは、近年不妊症治療の現場で注目を集めている、血液中の AMH 値の濃度を調べる検査です。AMH は女性ホルモンの一種で、「卵巣年齢を計る検査」と言われています。卵巣の中にある、これから育っていく卵胞（発育卵胞、前卵状卵胞）から分泌されるホルモンで、卵巣が卵子をどれくらい排卵する能力があるのかを、AMH 値から推測します。

グラフ 1 は、AMH 値と AFC（月経周期の 2～4 日目の卵巣両側における 2～10mm の卵胞数の合計）数を表しています。右端の棒グラフは、AMH 値が高く卵子数が多くても、低く卵巣内の卵子数が少なくても、不妊に注意すべきと赤色で示しており、AMH 値が 2～4 の範囲で AFC 数が 10～15 個である緑色が正常と示しています。



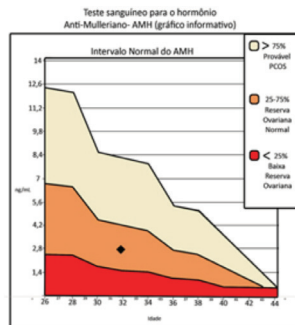
《グラフ1》

グラフ 2 は、年齢別の卵胞数を表しています。赤色は少ない、肌色は標準、薄黄色は多いということを示

しています。AMH 値が低いと卵胞の数は少なくなりますが、これは年齢に関係なく、若くても AMH 値が低ければ、不妊や若年性更年期となる可能性があります。女性のライフスタイルが変化し、30 歳頃から結婚して妊娠することが増えてきましたが、25～30 歳頃に AMH 検査を行い、数値が低い場合は、将来の妊娠に備えて早めに卵子凍結保存を行うこともできます。

最近は月に 1～2 人の独身女性が AMH 検査を行うためにクリニックを訪れています。その半数は、母親がつきそって来ます。結婚の気配が見えない 20 代の娘の将来を心配して、将来、家族で孫の姿を見られるチャンスを少しでも高くするために、両親が検査費用を負担し、必要に応じて卵子を保存するようなケースも見られます。

*『フェルチクリン』の中野英二医師に解説していただきました。



《グラフ2》

フェルチクリン

Av. Indianópolis, 1960 - Planalto Paulista - São Paulo - SP

Tel: (11) 5581-2045 / 5581-3566

www.ferticlin.com.br / contato@ferticlin.com.br

